

向かいの人妻がセックスフレンド

セフレと……3

近所の人妻とエッチしまくるCG集

村夫子



お茶会の席でセフレになる様すすめられ



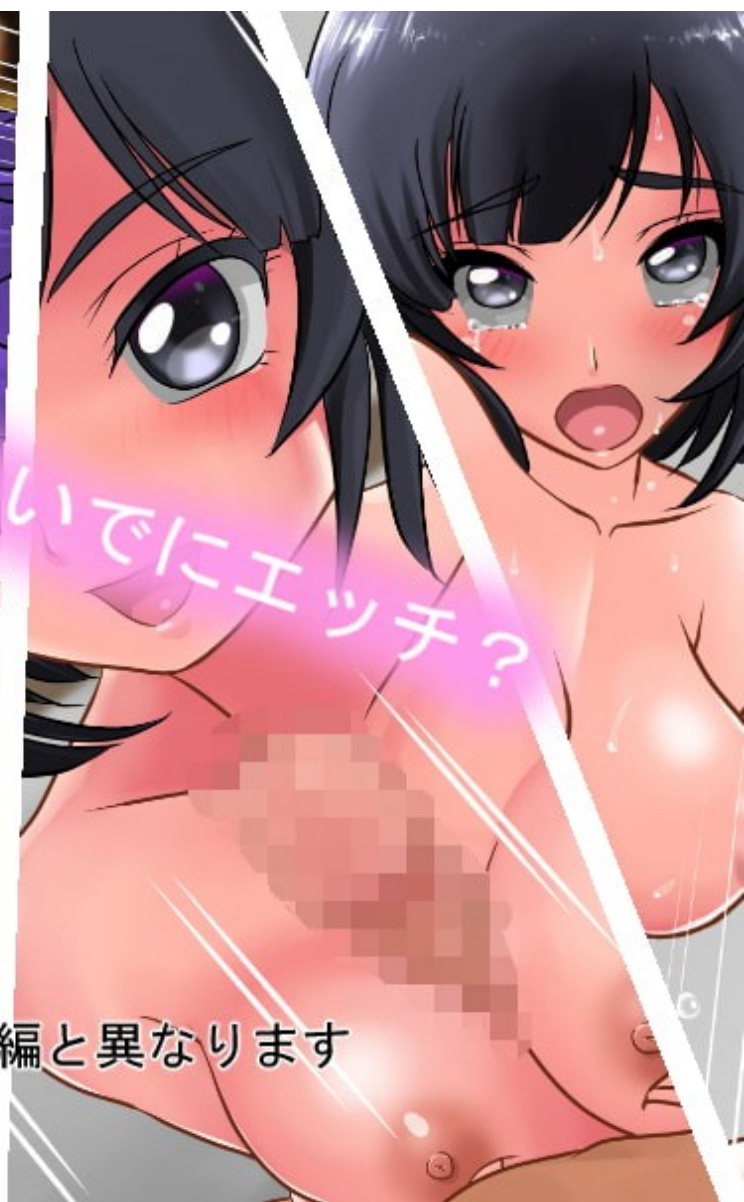
そのまま人妻とセフレになっちゃった！





他の人妻達ともついでにエッチ？

※モザイク処理は本編と異なります





基本19枚 差分166枚 文字差分179枚



村夫子2018

セフレと・・・3

向かいの人妻がセックスフレンド



俺はこう見えて小説家だ。

永い下積みの末にどうにか

仕事軌道に乗り収入が増えた。

とは言え、こんな仕事だし

いつどうなるかなんて分からないから

自分を少し追い詰めるつもりで

中古が一軒家を買った。

中古とは言えお高い買い物、

コイツのローンで自分に鞭を振る。

音楽家が建てて住んでいた家だそうで、

中で楽器を弾くために防音はバッチリ。

静かな中で執筆したい俺には

うってつけの代物だ。

だがひとつ、

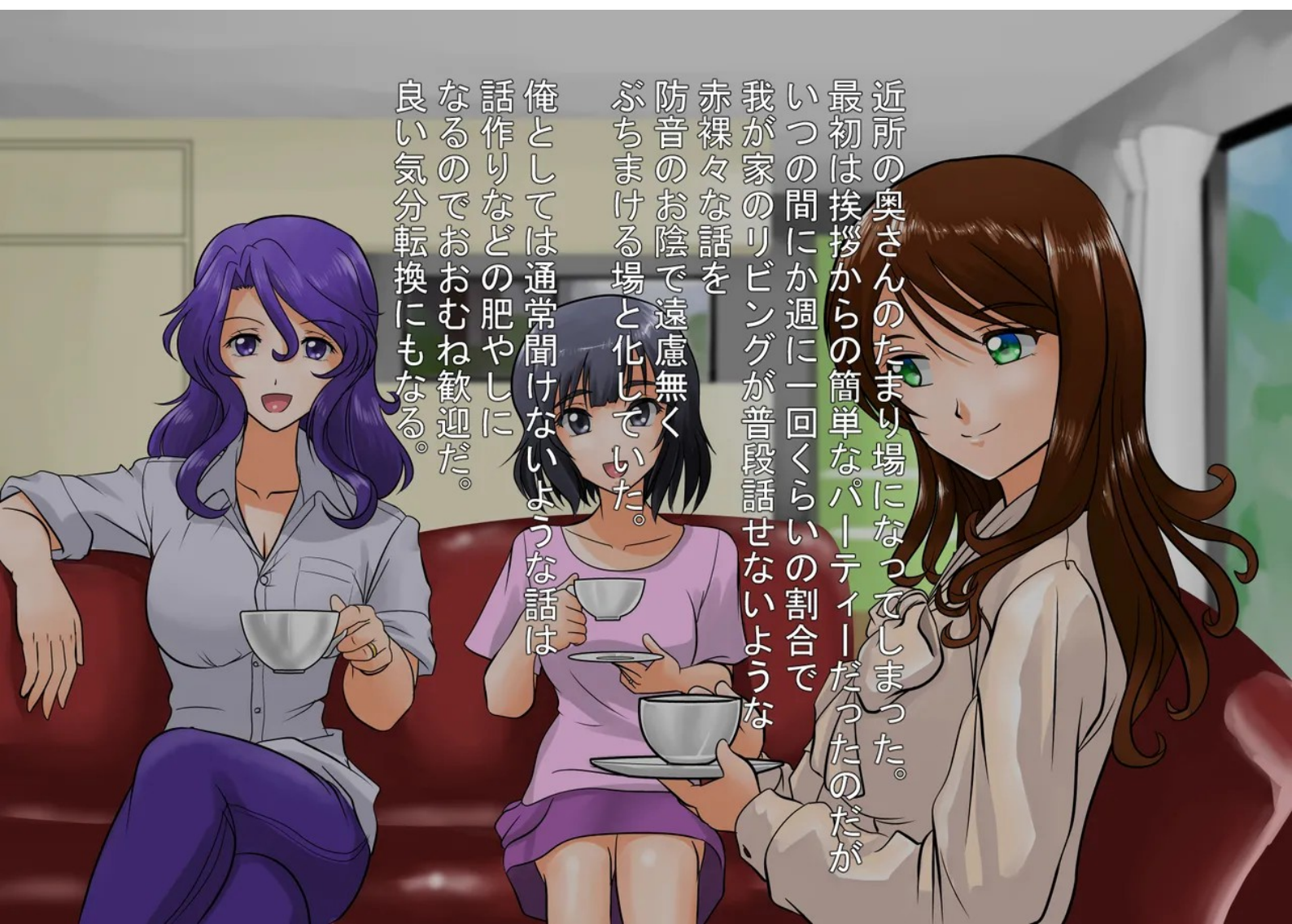
その防音のお陰で思わぬ事となった。



…だつてさー

あはは、
たいへんだー

だめですよ、
そんなに笑ったり
したら……



近所の奥さんのたまり場になってしまった。
最初は挨拶からの簡単なパーティーだったのだが
いつの間にか週に一回くらいの割合で
我が家のリビングが普段話せないような
赤裸々な話を
防音のお陰で遠慮無く
ぶちまける場と化していた。
俺としては通常聞けないような話は
話作りなどの肥やしに
なるのでおおむね歓迎だ。
良い気分転換にもなる。



向かって左に座っているラフな格好の巨乳美人は
右隣に住んでいる
藍田さやか32歳
かなりフランクな女性で一番下ネタが多い
旦那とはもうセックスレスだが性欲は旺盛で
外にセックスフレンドがいるそう。

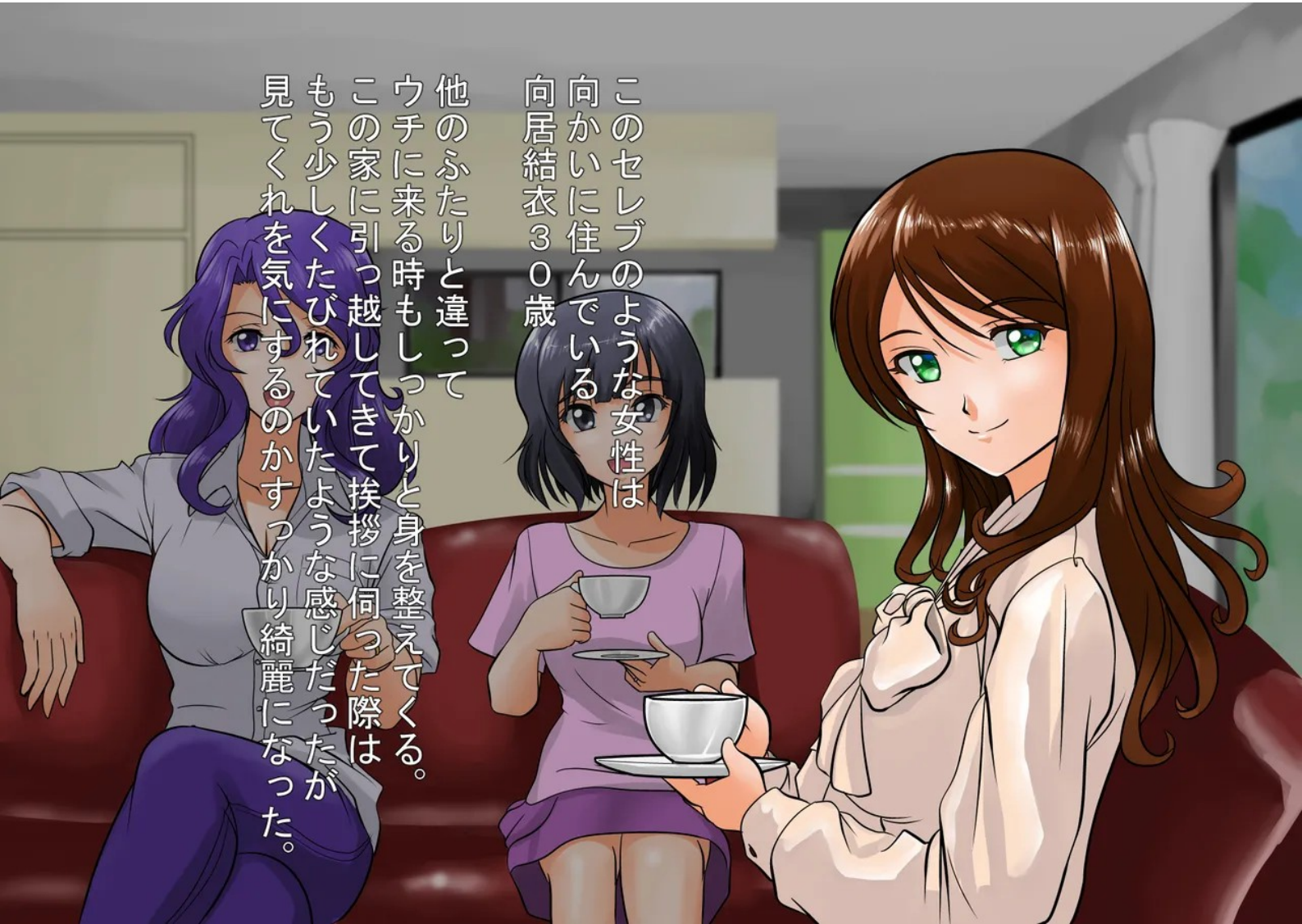
真ん中に座っているのは
左隣に住んでいる
美籐ほのか28歳

小悪魔っぽい表情で良く俺をからかってくる。
こちらでも旦那とはセックスレスではあるが
あまりセックスに未練は無いらしい。



このセレブのような女性は
向かいに住んでいる
向居結衣30歳

他のふたりと違って
ウチに来る時もしつかりと身を整えてくる。
この家に引っ越してきて挨拶に伺った際は
もう少しくたびれていたような感じだったが
見てくれを気にするのかすっかり綺麗になった。



時々他の奥様方も加わるが
以上3名の奥様方が
お茶会のメインメンバーだ

先生どうしました？

いや別に、
ただの状況説明です

？





ありやー、
ひどい旦那ねー

そういえば
最近向居さんとこの
旦那さん見ないけど
もしかして帰ってない？

あ、はい。
最近はお泊が多くて……
どうやら不倫して
いるみたいです……

あんたがそれ言うんですか



向居さんもう長いこと
エッチしてないんですよ？
旦那さんも溜まってる
んじゃない？

向居さんじゃあもう
ずいぶんしてないの？

結婚して1年くらいは
積極的だったんですが
子供が出来なくて、
それからは……

はい、
もう3年くらいです……

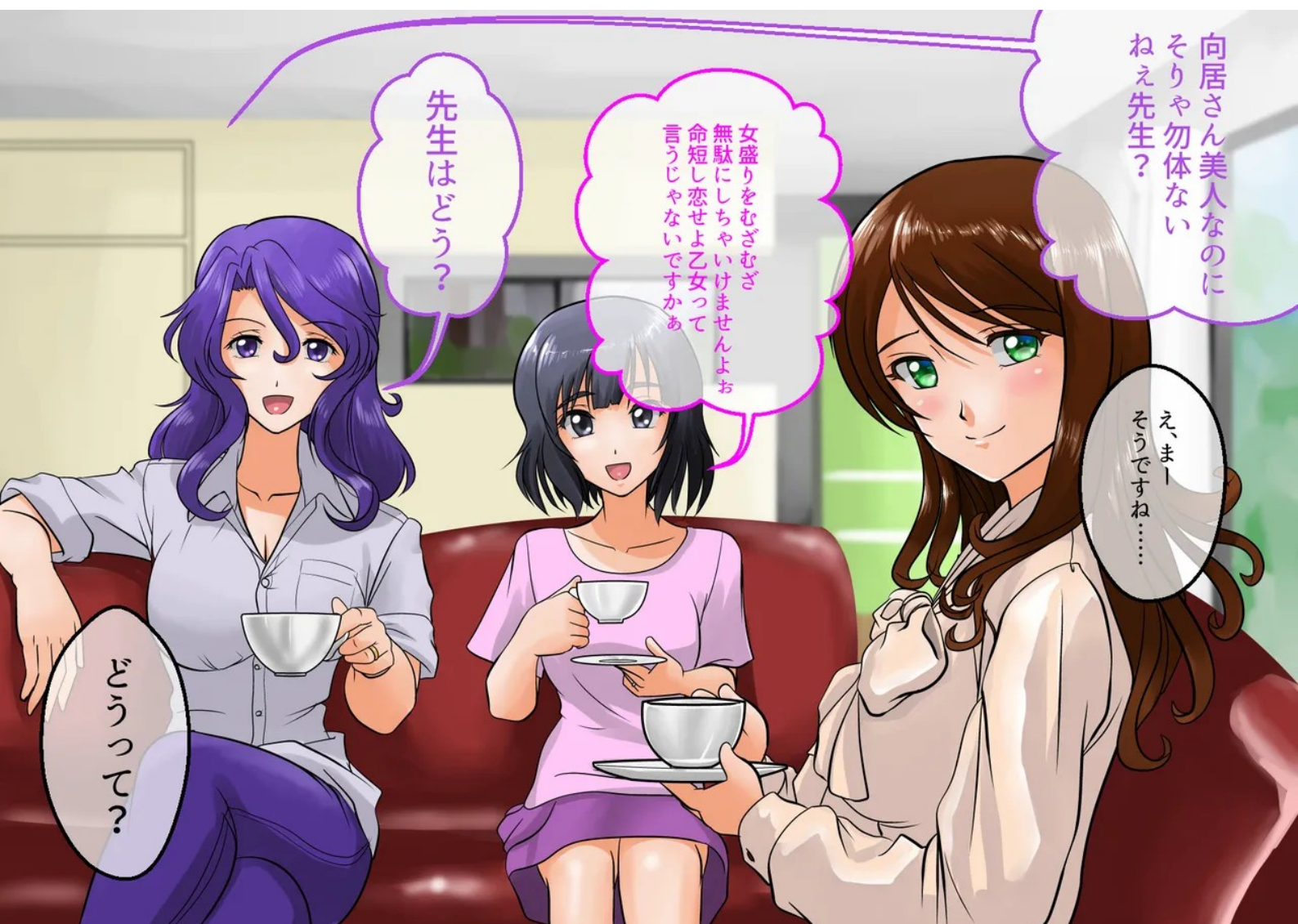
向居さん美人なのに
そりや勿体ない
ねえ先生？

え、まー
そうですね……

女盛りをむざむざ
無駄にしちやいけませんよお
命短し恋せよ乙女って
言うじゃないですかあ

先生はどう？

どうって？



どうもこうも
エッチの相手よ！
良い相手いるの？

いや、
別にいませんが

じゃあふたりで
しちゃいなさいよ！
セフレになっちゃえ！

えええええ
えええええっ？



良いじゃないの
セックスフレンドなんて
気楽なモンよ！
子供も出来ないみたいだから
生中出しし放題よ！

え、でも
そんなにいきなり言われても
向居さんだつて急に、ねえ？

せ、先生が良ければ
私は……

えん？



先生は……
私なんかじゃ
お嫌ですか？

イヤじゃないというか
そりゃ俺だって
男ですから
向居さん美人だし
そのえーと





よーし決まりね！
それでは早速
しちゃいなさいね！
邪魔しちゃ悪いから
美籐さん、私たちは
退散しましょう

はあーい
それではごゆっくり

む、
向居さん……？

……

し、
寢室に行きましょうか？

向居さんは顔を赤くして
黙ってうなづいた





先生、あの
シャワーなら
浴びてきてますから…

俺も失礼があるといけないので
お茶会がある時は
シャワーを浴びてるのだが……
いや、そうじゃないけど……

うふふ、
私いま乙女のように
ドキドキしています……

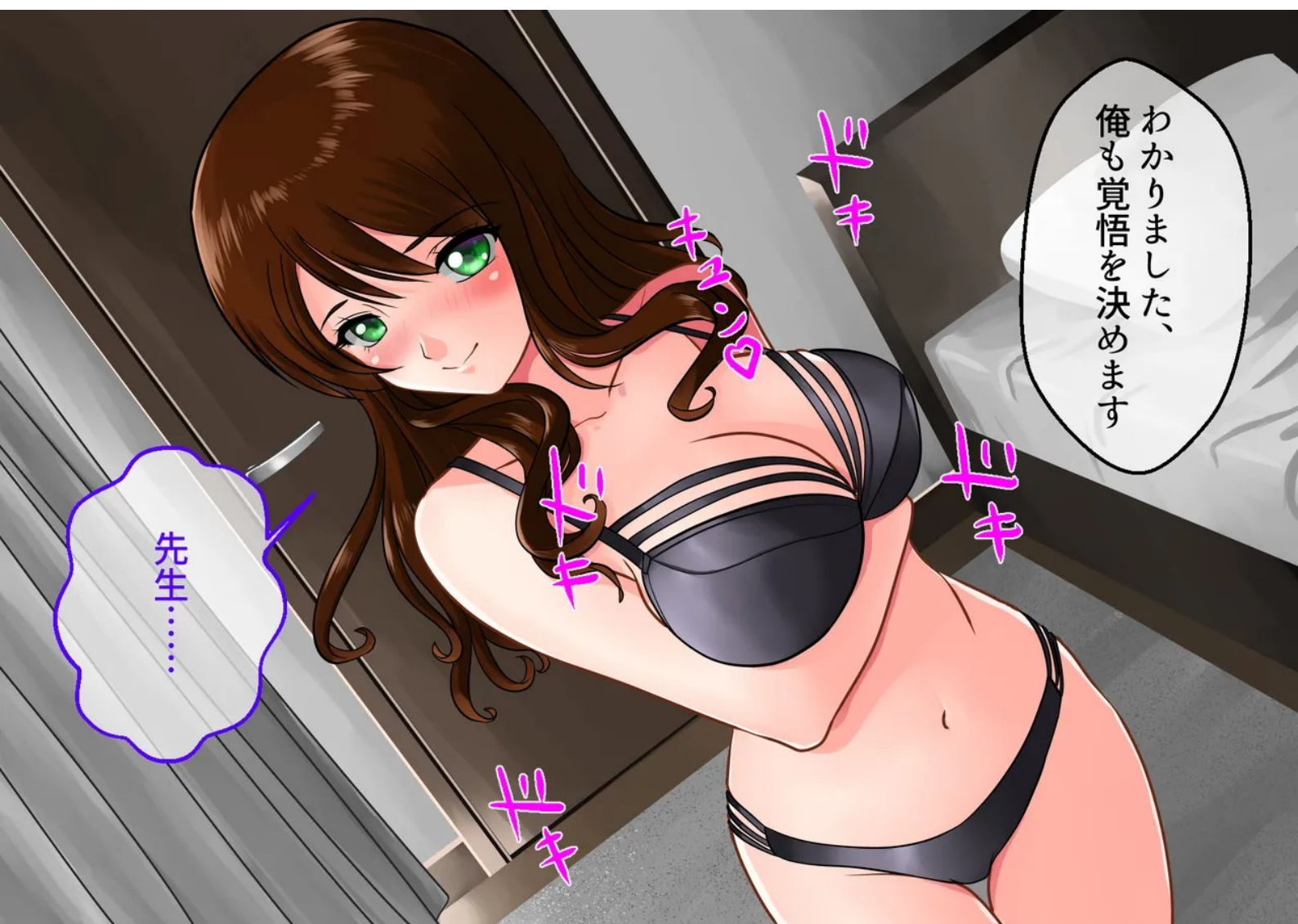
向居さん
本当に良いんですか？

俺がそう言っている間に
彼女は服を脱いでいく



先生、
あまり女に恥を
かかせないでくださいな……

黒い下着が
何ともエロチックだ……



わかりました、
俺も覚悟を決めます

先生……

俺も服を脱いでいく。

先生ってけっこう立派な
お体されてますね……

はぁ♡

ザキッ♡

キュン♡

キュン♡

ドキッ
ドキッ

ドキッ

はぁ♡

そうですか？
まあ執筆は体力勝負な
ところもあるので
それなりに鍛えてます、

素敵です……



向居さんが最後の1枚を
脱ぎ捨てる

向居さん、
綺麗です……

キュン♡
ドキ♡
ドキ♡

ドキ♡

もい
もい……

かぁっ♡

ドキ♡

ん……

もう、
恥ずかしいです……





本当に綺麗です
俺より年上には見えませんよ

ドキ
ドキ

ドキ
ドキ
ドキ

うふふ、
こう見えて私も
鍛えてますから……

鍛えてる？

先生にあまりだらし
ないところを
お目につけたくないから
頑張ったんですよ

どおりで、
初めて会った時より
綺麗になっているわけだ

うふふ……

俺はたまらず
向居さんをベッドに
押し倒した。

キョ・ハ

プルンツ

ジュッッ





ああ、
先生のすごく立派です……

いいきますよ

はい、
私ももう待ちきれません
早くください……っ





向居さん、
すごい締めまりです……っ！

先生の、すごく、
おつきいから……っ！

それに、
こんなに太いの入れるの
ひ、ひさしぶりで……っ！

じ、自分では
してなかったんですか？

ゆ、指を
少ししか……

う、動きますよ

は、はい、



んはあ、はあんっ
あんんっ、んっ！

いいい、
きもち
いいっ……っ！

先生、
もっとお……っ！

ズ
ッ
ッ

じゃ、
ん、
ん、

グ
ッ
ッ

んああ、いいっ
奥にズンズン来て、っ……！

あああんっ
先生のおちんちんが私のオマンコ
かきまわしてっ……！

普段の向居さんからは
到底想像できない
「オマンコ」という言葉ができて
俺の興奮はいつそう高まった。





んあああ
あんんっ！
いっ
いっ！

ん、もつと！
もつとおお
おおおっっ！！

向居さん、
俺、気持ち良すぎて
止まりません！

「いいのよ
いいのっ
つつつ！」

先生のオチンチンで
私を突きまくってえ
ええええええつつ……！！

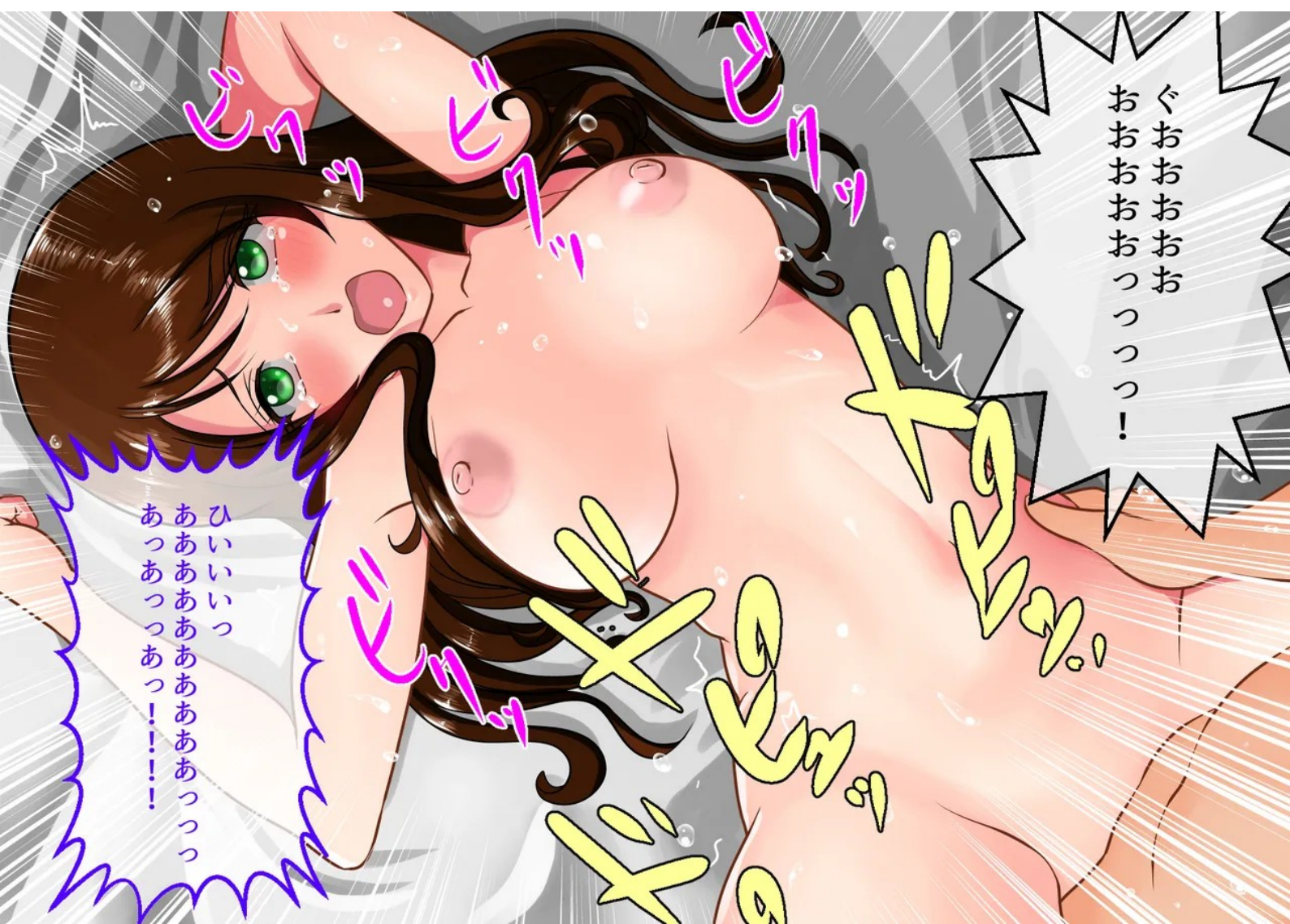


うおおおおおっ
向居さん！
俺もう出そうです！……！

良いですよ！
来て！
私も来るの！
スゴイの来るのっっっ！

良いんですね？
中出して
良いんですね！？

良いですよ！
先生のザーメン
中にいっぱい下さい……！





あああ……
先生のザーメンが
なかに……
いっぱい……

あっ
ううううう

タクン
ダクン
ダクン



「あの先生？」

「なんです？」

「あの……」

「私のお尻でしてみませんか？」

「え、良いんですか？」

「はい、

私昔から興味あったんですけど
主人がそういうの嫌いで……
だから、お尻は処女ですよ……」

「そうなんだ……」

「それと先生の持つてるDVDにも
いくつかアナルものが
あったので、その……」

「ぐわっ見られてたのか……」



ドキ
先生、綺麗に洗ってきたから
そのままください……

もしかして今日は
はじめから
こうなる気で？

今日だけじゃ無くて
先生の元を訪れるときは
ほとんどいつも
覚悟してたんですよ……

そうだったんですか……

あゝ♡

ドキ
ドキ
ドキ

ドキ
ドキ
♡





ひいんつつつつ……！
あう、ぐう……んっ！

あぐっ……！
い……っ！

うううっ
すごい、締まるっつつつつ！

人妻の処女肛門に
肉棒が深く突き刺さっている。
実に淫猥な絵面だ……

苦しそうですが
大丈夫ですか？

はい、
大丈夫です……っ！





あくっ、
アナルヴァーजनを先生に
捧げられて、嬉しいですっ……

キゅん♡

はっ♡

向居さん……

かき
かき

いまは
「結衣」って呼んで下さい……

かき

は、はい、
いくよ、結衣さん

かき♡

キゅん♡

はい、
私の処女アナル
好きなだけ犯して下さい……



うんんっ……くふううんっ
うんっ……くふううんっ

んんっ♡
んんっ♡
んんっ♡

んんっ♡
んんっ♡
んんっ♡

んんっ♡
んんっ♡
んんっ♡

ズッ
ズッ
ズッ

ズッ
ズッ
ズッ

んんっ
んんっ
んんっ



あっあっあっあっあっ
かはあああああ

はああん、いいっ、すごくいい……っ！
いいよおっ！
もっ……もっとお尻かき回してっ！



んはあっ、んんっ！
ひいっ、いひいっ

お願いっ
きてっ、もっとおおおっ

あひアツツ！
あうんっ！！
あくっ

グ
ン

グ
ン

グ
ン



くっくくくく
もう出ます！
中出ししますよっく！

いっぱい出してッッ！
生ザーメン中に
いっぱいくださいっ！

私もっくくくく
アナル初めてで
いっちやうくっく

ぐおおおおおっくくくく！



あひいいいいいっつっつ
くああっああっああっ!!!

おっ♡

あおっ♡

どっ

どっ

どっ

ぐうぐうぐうぐうぐう!!!

X X X
X X X



んああ……
気持ち良い……
お尻処女喪失でイッちゃった……

まだ中でドクドクいってる
すてき……



先生、
私いま凄く女の喜びを
感じています……
お尻なんかで変ですよ

あーっ♡♡

はあ
はあ

はあ♡

うふふ……
私たち変態さん同志ですね

そんなことありませんよ
俺だって今男の幸せを感じています

あはは
そうかも……

ぐっ……

ヒューヒュー

ハ



先生、
今日は有り難うございました。

キュン...♡

かあ...

いや、こちらこそ

それでいかがでした？
その、私とのエッチは？

そりや
とても良かったです。

キュン...
キュン...
♡

♡
うふふ、
嬉しいです.....



藍田さんと美藤さんに
協力してもらった
甲斐がありました。

あー
やっぱりふたりと
グルでしたか……

怒らないで下さいね
私が無理を言って
お願いしたんですから

怒りはしませんよ



さつきも少しお話しましたけど
私、先生と初めてお目にかかってから
ずっとこうなりたかったんです。

ええ、
でも何で俺なんかと？

私、あまり人付き合いが広くないので
なかなかご縁が無くて……

藍田さんのように
気軽にセフレ作るなんてこと
できませんし……

藍田さんは
かなり特別ですよ。

うふふ、
そうですね。

そ、それで
結衣さんは
その、俺のセフレになって
良いんですか？



はい、私の方からも
よろしく願います。
先生の好きなときに
私を好きに使って下さい。

じゃあ結衣さんも
好きなときに俺を
使って下さい。

はい……♡

それじゃ早速ですが
もう一回良いですか？

はい、
先生の好きなだけ

あん♡

その日は夕方まで結衣さんと
エッチし続けたのだった。

俺は取材のために
ある商社に訪れていた
前にも同様に何度か訪れていて
馴染んでいる場所でもある。

お待たせしました先生

この方はこの部署の主任、
水樹彩乃さん
前にも何度か取材で
協力してもらった。
なかなか出来る人だ。

なんか前に会ったときより
綺麗になってるかな……？



よく見ると
左手の薬指に光るものが

あの水樹さん？
それはもしかして……

あ、はい
先日結婚しました！

それは
おめでとう御座います！

有り難うございます

あ、それじゃあ
いまの名字は？



いえ、仕事では旧姓を
使わせてもらっています。
先生のペンネームみたいな
ものです。

あーなるほど

さて、お仕事に
取りかかりましょう

取材が始まった。
スパッと切り替えられる当たり
相変わらず出来る人だ

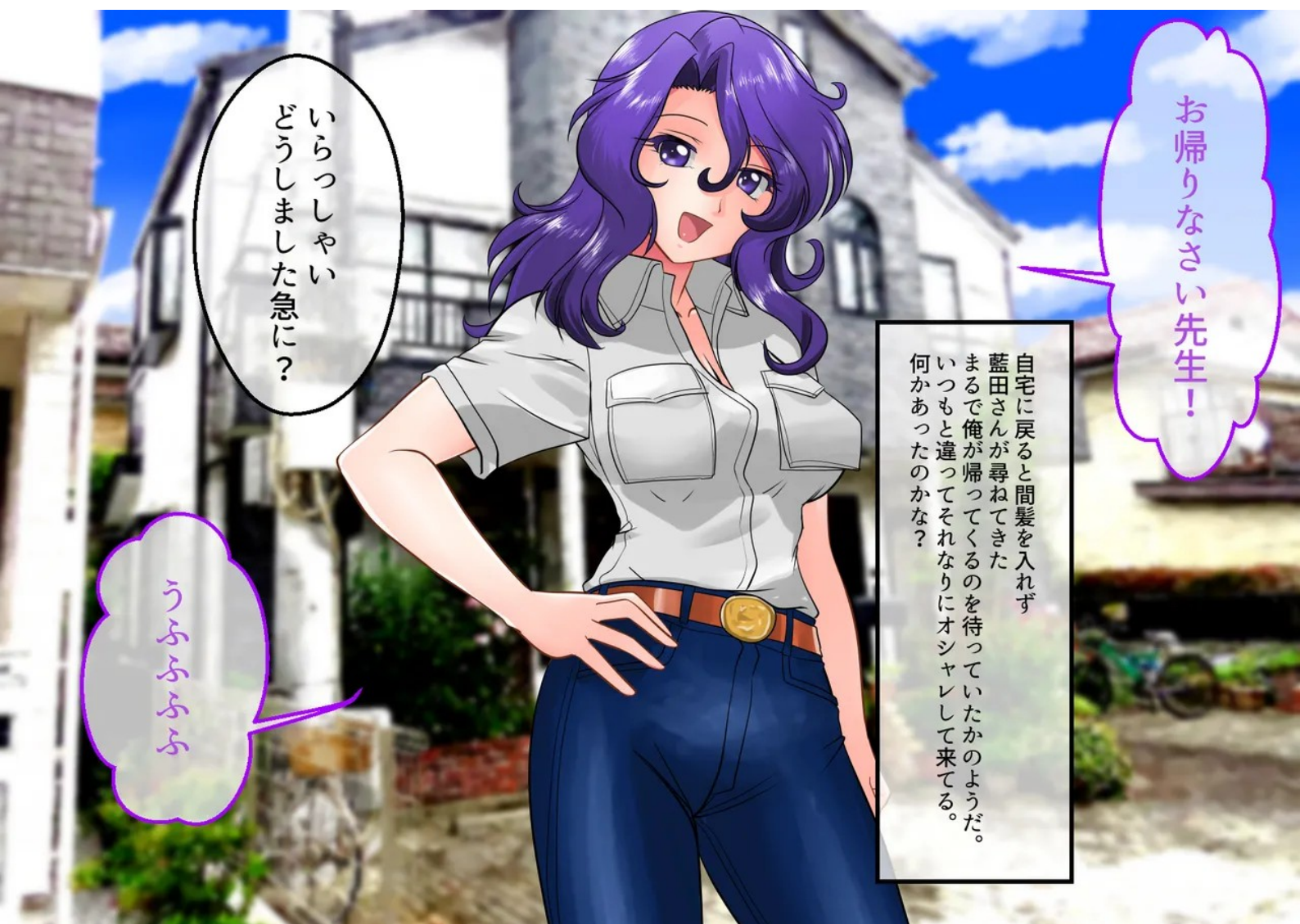
にしても結婚かあ……

お帰りなさい先生！

自宅に戻ると間髪を入れず
藍田さんが尋ねてきた
まるで俺が帰ってくるのを待っていたかのようだ。
いつもと違ってそれなりにオシャレして来てる。
何かあったのかな？

いらつしやい
どうしました急に？

うふふふ



先生、
聞いたわよ向居さんから
めでたくセフレですってね

めでたいかどうかはさておき
あんた達が仕組んだんだろうに

ええ、まあ
そうですね。



いいなあ
ご近所でセフレなんて
いつでもすぐに出来るじゃない

いつでもって……

私なんてセフレと今日会う約束してたのに
すっぱかされちゃったのよ

ああ、それで
普段よりオシヤレなんですか

そんなわけで先生
エッチしましょう

はい？



向居さんからは
許可もらったから
遠慮しなくて良いのよ？

許可って

細かいことは
気にしない！
さあ脱いだ脱いだ！

ぎゃー



あれよあれよという間に
寢室に連れて行かれて脱がされ
ベッドに押し倒された。

藍田さん

思ってた以上に

大変な人だった……

うふふ
オチンチンだー

はあ……
はあ……

藍田さんは嬉しそうにチンチンを
いじりだした。

先生のオチンチン
スゴイ立派で素敵……

ふに



あ、藍田さんは
いつもこんな
積極的なんですか？

うふふ、そうよ
こう見えて私
セックス中毒なのよ

こう見えてって
十分納得でき
ちゃうんですが。

それとこういう時は
「さやか」って
名前で呼んで欲しいな





んんん、もっろあまんひて
いっひゃいのうほうなのまひて
(んんん、もっと我慢して
いっぱい濃厚なの飲ませて)

頭を動かしながら
さらにチンコを刺激してくる。

むう、うん、うううん
んちゅうん、んんん……

じゅろっ

ちゃ♡
ちゅ♡



さやかさんが汗ばんできて
牝の濃厚な匂いが部屋中に充満してくる
その匂いで俺の興奮も高まってくる。

んふん、ふうん
んっ んん んん んっ

い
ち
ほ

ち
中

ふふふ

おいひい
おいひい
よっ



じゅぼっ! ぐちゅぼっ!
ぐぼっ、ちゅちゅっ

さやかさん、いい……っ!
凄く良い……っ!

まららめよ
もつろらめほんで!
(まだだめよ
もつとため込んで!)

ズ
ニ
ツ

ちゅっ





ぐおおおおお
おおっっっっ!
!!

うんんんん
うんんんん
うんんんん



さやかさんの口の中にドクドクと
ザーメンが注ぎ込まれて
喉を鳴らして飲み込んでいく

うんんっ
ぐんんんっ

うんんんん……

ゴクッ

ゴクッ



ああ、先生のザーメン美味しい……
こんなに濃厚なの久しぶり……

それに出したのに
まだこんなに硬い……

さ、さやかさんが
上手だから……

うふふ
ありがとう

ハア
ハア
んふ

ピクッ
ピクッ



うおっ!!!
おっ!!!

ぱくっ
れろれろ
うんんんっ

不意打ちのように
くわえられて
ビクツとなった。



すぐに出来そうね
今度は私を
気持ち良くしてね
センセイ♡

はい、
綺麗になった

さやかさんは
四つん這いのまま尻をこっちにに向けた
尻を振って求めてくる。

「先生え、

後ろから私を突きまくってえ」

「淫乱人妻をめちゃくちゃに
犯して頂戴い」

自分で言っちゃうかなこの人……

既に濡れている
さやかさんの膣口に
亀頭を当てる

さやかさん、
このままで良いの？

ちり...

ドキ

ドキ

ドキ

ん...♡

あ...♡

キュン...♡

いいのよ
今日は大丈夫な
日だから.....
そのまま生チンポ
突き刺して.....

メリメリと
濡れた割れ目に
押し込んでいく。

んんん……
この入ってくる瞬間好きい……

先生のオチンチン
すごく良いかも……
んっ

肉棒が奥まで到達する。

動きますよ

あんっ
先生のオチンチンが
おなかいっぱい……

きてえ
オマンコの中かき回して……

はっっ

おん……♡

あ……♡
あ……♡

プルッ

プル
プル
プル





あぁ
これいい...!!
こんなオチンチンが
欲しかったのおっ!

ああんっ...あふうんっ
あうんっ...くふうっ

先生えもつと!
もつとお突いてえ...っ!!

はぁ♡
んっ♡

んっ♡

ズッ
ズッ

プルン
プルン

プルン







ダメですよ
俺がイクまで我慢して下さい

イクぞっ
出すぞっ

ヒッ アッ
アアアアアア
ダメッ
死んじやう、
しんじやううううう
うううううう

アッ♡

カハッ

ガク

ガク

ガク

アッ♡

パッパッ

ジュホ

ズブズブ





あっあっあっ

出てる……っ！
ザーメン中に撃ち込まれてる……っ！

すす
ごいの
……



向居さんが羨ましいわ
こんなオチンチンと
セフレになれるなんて……

はぁはぁはぁ……
もう先生スゴイ

途中から余裕なくなっちゃったわ……
こんなに乱れたのひさしぶり……



ちよつと、
ほどほどにお願いしますよ

うふふ、
先生が良ければ
私も時々で良いから
エッチしましょうか？

あん♡

キュン♡

あ…♡

うふふ

数日後、
性欲が溜まってきたので
向居さんと呼んだ。

ちよつと間が空いちやつたような気もするけど
大丈夫だろうか。



ああっ
先生からお誘いなんて
嬉しいですっ……

ず
ふ
う
……

グ
チ
ュ
ッ

すみません急に、
どうにも結衣さん
したくなつて……っ！

キ
ュ
ン
♡

あ
っ
♡

あ
っ
♡

あ
っ
♡

は
ん
♡

良いんですよ
私の身体を
好きに使って下さい……



でも先生、
私、こんな体位初めてで
恥ずかしいです……っ

はぁっ

ぐちゃ

キュッ

おぁっ♡

ドキ

ドキ

でも気持ちよさそうに
キュンキュン締め付けてきますよ

かぁぁっ♡

いやぁ
先生意地悪です……



あんっ!
ウウンッッ!
くううんっっ!

ズッ

ズッ

ズッ

あ……んっ、
うん……クッ
……くあっ!!

おちんちんいいっつ……
いいのおっつ!

んっ♡

プルッ

あ……♡
んっ♡
はっ♡



はあああああ...んんんっ、
んんふうう...
ああん、あああっ

あん...

あゝ♡
あん♡

すてき
先生の、おちんちん
私の、気持ちいいところに
ズンズン当たるのお...っ！

ブルン

ブルン

ズン
ズン
ズン

ズン
ズン

ズン
ズン
ズン





あああああああ
激しいッ
いいのっつっつっ!

オマンコかき回されて
きもちいいッ
きもちいいッ!!

アッ♡
あん♡♡

ア♡

ああんっ
ああんっ
ああんっ



先生つつ
わたしっ
もうダメッ！
イグツツツ
イグツツツ

俺も、
もうイきます！
いっつしよにつつつ

あああああああつ
先生え！

あん♡
あん♡

ひっ♡

いっ♡

いゅほ

ずぶ

ぐぐぐ

じゅぶ



うぐおおお
おおおおっ

あああああああああ
アッアッアッアッ...っ!

ドビュッ
ドビュッ
ドビュッ



ああ先生...
このドクドクしてるのすきい...

ううん...♡

いやあ
もう...♡

おれも
この搾り取るように
締め付けてくるの好きですよ...

ガクン

ドクン

ガクン

ガクン



結衣さんすいません
なんか優しく出来なくて

良いんですよ
気持ち良かったですから。

でも……

もう、
先生優しすぎです

私たちセフレなんですから
気兼ねなく気持ちいいこと
いっぱいしましょう

結衣さん……

ふふっ
先生のまだ硬いですね

良いですか？

はい、
いっぱいしましょう

その日はまた
夕方まで結衣さんを
犯しまくったのだった。

数日後
今度は美藤さんが尋ねてきた

先生、
藍田さんとも
しちゃったんですってね？

え、
ええ……

ずるいですよ、
私ともして下さい！

ええええええ？





ふたりからあんな話聞いたから
私の中の女が蘇ってきちゃった
みたいです

美藤さんあまり
セックスに興味は無いんじゃない？

逃げられそうに無いので
観念して寝室へ
いいのかこれ……

び、美藤さん!?

うふふ
先生の聞いていた以上に
立派ですねえ

うふふ♡

ふに

キュン♡

美藤さんの胸も
思っていたより
ずっと大きいですよ

うふふ、
このおっぱい、
今日は好きにして
良いですよ



じゃあまずは
お約束のパイズリッ

パイズリって
初めてですよ

んっ♡

うにゅ

ふにっ♡

あらあ
向居さんも藍田さんも
立派なの持ってるのに
勿体ないですねえ

じゃあ先生、
このおっぱいをおちんぼで
いっぱい味わってくださいあい

あん♡

ぱっ♡

うおっ
ぷるぷるの柔らかい感触が
やさしくチンコを刺激してくるっ

しゃこ
しゃこ
プニ
プニ
しゃこ
しゃこ

はあはあはあっ
どうです？
パイズリは

す、
すごく、
気持ちいいですっ

イけそうでいけないような
繊細な感覚ですっ

うふふっ
そんなに喜んでもらうと
頑張っちゃいますよ

あゝ♡

ん♡
しゃニ

しゃニ

はあ
はあ♡

しゃニ

しゃニ

しゃニ



あ、先っちょが
膨らんできましたねえ
イきそう？

ああ、もう
出そうです……っ！

はあ、

はあ

はあ

はあ

しゅに

くちゅ

くちゅ

しゅに

しゅに

いいですよお
びゅびゅーって
出しちゃってくださいあい



きゃっ♡

うああっ！

あんっ！

ドヒュッ

ドヒュッ



はあはあはあ
はあはあはあ……

すごおい
こんなに精子かけられたの
ひさしぶりです……

良い匂い……
すてき……

ん……♡

はあはあ♡
はあはあ♡

お♡
おあん……♡

びゅっ
へん
え
びゅっ
びゅっ



うふふ、
先生結構溜まってました？

うふふ♡

あ、ええ。
向居さんとしてから以降
ずっと我慢してましたから

まあ
こんな時に他の
女の人の名前出すなんて
ひどい人ですねえ

ふんが♡

あは♡♡

す、
すみません

もう、
今日は私だけ見て
もらいますからねえ



美藤さんは
俺を押し倒して上に乗ってきた

そしてまだ硬度を保っている肉棒を
膣にあてがう。

「美藤さん、そのままが良いんですか？」

「うふふ、今日は大丈夫な目だから良いですよ。
好きなだけ申出しして下さい」

「そういうことなら」

「それと先生」

「はい？」

「今は私のことを、ほのかって呼んで下さいね」

「ほのかさん……」

「はい、いきまあす」



ほのかさんの中
気持ちいいですっ

ああああん
先生のおちんぽお
奥まで届いたあ

あんっ……

そう？
久し振りだから
心配だったけど
嬉しい……



ひんっ!
うんっ!

ほのかさん?

くう、
うんっ!



あ、ん、
いま、
軽くイツちやつたあ……

ああ……

先生のおちんぽ
すごい……

はあ
はあ♡

ああ……♡

トクン
トクン
トクン

ちゅ……

ちゅぽ

……
動きますよ

あ、ん、

だめえ
わたしが動く、のお……



あ、はああんっ……！
ああん、いいん……っ！

ああんっ、あんっ！

あ、
あ、♡

ああん♡

♡
♡

プルッ

ぐちゅ

プルニッ
ぐちゅ

じゅぽっ

はああああ……んっ、



ほのかさんにリズムに合わせて
俺も腰を動かして突き始める。

ビュッ
ビュッ

ビュッ

ダメッ
そんなっ
すごつつっ、いっっ!

ズッ
ズッ
ズッ

ズッ
ズッ
ズッ

ズッ
ズッ
ズッ

んんんっっ!
ふんっ!
いっ
いっ!

ズッ
ズッ
ズッ





だめっだめっだめっ
あん、だめっ あああんっ

ニムッ
ホッ

ああん……っ、あんっ、だめっ、あっ
いいのっ、気持ちいいっ

ほのかさんっ！
おれ、もうすぐ……っ！

だめっ
あたしもっ
もうすぐだからっっ
がまんっ
して……っ！……！



ああっ!
あひっ!
ぎつつつつあっつ!

もうダメだつつつ!

あああっ!.....!

スゴイの
スゴイの
きちやうつつ!.....!





ああ……
せんせいのせいしが……
いっぱい……

この感触、
素敵……

あんっ
んんんんんっ……



はあはあ
先生、
気持ち良かったあ……

はあ

おんっ♡

ばあ♡

はあ

はあ

先生のオチンポ
忘れられなくなっちゃいそう
また時々していい？

ほどほどにしてくれば……

ぜーぜー、
俺も、良かったですよ

キュン♡

キュン♡

うふっ♡

しばらくしたある日、珍しく
結衣さんからお誘いがあった。
あれから何度か身体を重ねたが、
向こうからのお誘いは多分初めてだ。

まあそんなこともあるだろう
俺もちょうどしたくなっていたので快諾した。

ああ先生……
はやく下さい……

おん♡
おお……♡

早く先生のオチンチンで
私をつらぬいてください……

ドキ

ドキ

結衣さんすっかりエロエロですね
そんなあられも無い格好で
おねだりするなんて

ねちや……♡





うふふ
どうします？

先生のせいですよ
先生のお陰で
私すっかり女を取り戻して
しまいました。

人の所為にするなんて
悪いひとだ

ん
♡

びん
びん

あん♡♡



ああんっ!

じゅ
ふい
う...

あん♡

あッ♡

いじめます!

ズ
ズ
ッ



ああん
先生のオチンチン
やっぱり素敵です……

結衣さんのオマンコも
素敵ですよ……

やん……

動きますよ

きてえ
突いて下さい……っ！

ガキーン

ガキーン

ガキーン

ドキーン

ちゃっ♡



先生え……っ！
いっぱい動いて……
私の中にいっぱいはき出してえ……っ！

あ、♡
はああん、ああ……、
くう……っ、
膣内が擦れて……ん、くっ！



んくうっ、はああんっ！
せ、先生のが奥に当たって……っ
んふうっ、ああっ！

はっ、んんっ、くうっ……
膣内が擦れて……っ
熱くなってるう……っ！



あああああつ！
そんなに奥を何度も突かれたらっ
身体が痺れちゃうのお……っ……っ！

もっとお！
もっと荒々しく私を犯してえええっ！

そこまで言われたら
答えざるを得ない
さらに激しく突き上げていく

あひいっつっつっつ！
あんっつ！

スゴイツ
また先生のおつきく
なつてきてるのおおおっ！

そろそろイクよ！

きて、きてっつ！
私も一緒にいいいいっつ！









んっ♡

あんっ
抜いちゃイヤです……
漏れてきちゃう……

はぁ

はぁ

はぁ

はぁ♡

あんっ

うふふ、
こういうのお嫌いですか？

結衣さん
すごくイヤらしいですよ

+OK+...



うふふ、
先生、もっとセックスしましょう。

大好きです。

ああ……♡

ん……♡

キミ♡

キミ♡

ひく
ひく

「あの先生、お尻にしてくれませんか？」

その日2回目のセックスの後、
結衣さんからアナルセックスを求めてきた。

「ええ、良いですよ」

「いつも通りちゃんと洗って
きましたからそのまま下さい」



結衣さんアナルセックス
好きなんです

僕も結衣さんとの
アナルセックス大好きですよ

はい、
もう忘れられません。
先生は？

おおっ♡

キュー♡♡

うふふ
私のお尻は先生専用です

うず♡

うず♡



ああもう
焦らさないで下さい……

もっとおねだりしてくれないと
入れにくいです

意地悪う……

あんっ♡

かあぁ……♡

ドキ
ドキ♡

私のイヤらしい尻穴に
先生のオチンチン刺して
かき回して下さい……っ！





くはあっ
あ、あ、
気持ちいい……っ！

ぐっ
……

入り口がぎゅうぎゅうに締まって
中はヌルヌル、気持ちいいですよ

ああん
嬉しいですっ……

はあ
はあ♡

うん♡

あん♡

ん♡



く
ん、
♡

ん
っ
♡

ん
っ
ん
っ
ん
っ
ん
っ

ぬ
ふ、
ぬ
ふ、
ぬ
ふ、

ぬ
ふ、
ぬ
ふ、

ん
ふ
う
っ
……
ん
っ
く
う
ん
っ
……
ふ
う
ん
っ、



はあんっ……はあんっ！
くはあっ！ あんっ！

せんせい
せんせい……っ！

ず
ふいっ

じゅ
ふいっ

じゅ
ふいっ

ズ
ッ

アッ
ッ
♡

ん
ッ
♡

く
ッ
♡

ん
ッ
♡

ん
ッ
♡







俺も……もう
イきますすっすっすっすっ！

私も、もう……、ダメッ
イグ……ッ、
うううっ……！



うあああああああつっつ

あああああああ
あああつあつあつ
あああつあつあつ



はあ、はあ、はあ、はあ、はあ、

あああ……
おなかの中に
先生のザーメンが
広がっていく……
素敵……



あんっ

ぬぽっ……

結衣さん、
ちよつと激しくすぎたかも
痛くないですか？

少し、でも平気です。
でもこの痛さが先生に
処女を捧げているみたいにも
感じるんですよ

そういうモノなんですか？

キュン♡

はあ♡

はあ♡

はあ♡

はあ♡

うふふ、
私だけでしょうけど



先生、今回も
有り難うございました。

こちらこそ
気持ち良かったですよ

うふふ



あの先生、
大事なお話があります。

主人が不倫しているのは
前にお話ししましたね。

？
あらたまつて
何でしょうか？

はい、



それが理由で私、
この度離婚することが
決まりました。

はい
本当です。

……
ええええっ!?!?
本当ですか?



主人、元主人はこの街から
出て行くそうです。
私ももうこの街には
いられません。

最後に先生と
素敵な思い出を作れて
良かったです。
本当に有り難う
ございました……。

そんな、
この関係が
こんなにあっけなく
終わってしまうなんて……

あ、待てよ
離婚するって事は
フリーになるわけか……



あの、
結衣さん！

はい？

ひとつ
提案があります！

それから程なく向居夫妻は正式に離婚、
元旦那は引っ越し、向かいの家は無人になった
暗くなっても灯りのともらない家を見ると
少しもの悲しくなってくる。

そして結衣さんかというと……



あ、先生
お夕食もうすぐですよ

そうか
ちょうど良かった
結衣さん、今日のメニューは何？

カレーの煮付けです

お、そりゃ良いですね

結衣さんは
ウチの住み込み家政婦になってもらった。
料理は美味いし家事全般を
そつなくこなしてくれる。
俺ひとりではとても手が回らなかったから
とても助かっている。

何か手伝いましょうか？

それじゃあ
お皿を並べて下さいますか？

分かりました

こんなのも
中々良い生活だと思う。
この生活を守るためにも
頑張らないとな……



そして週に2, 3回は……



うふふ、
今度は私が上になりますね……

んん……っ

ちゅ……

ぬふふ……

おっ……

あ……

む……

ん……

んんっ

ああん、おっぱいもんでえ……
つよくう……ん、



ああん、先生……
オチンチンが奥まで届いて……

ん♡

はあ、うん……
な、中が熱くなってきました……っ！

おん♡

ん♡

ん♡

ん♡

ん♡

ん♡

ん♡



先生、私が動きますから
う、動いちゃダメですよ……っ！

う、うんツ、
ふううつ、あんつつつ

ドッ
ドッ
ドッ

ドッ

ドッ

ああん……っ、あつ
はあん、ああっ！

んわっ、
んわっ、



結衣さんの動きに合わせて
俺も下から突き上げる。

じゃーん
アアアアアア
ダメツツツツ
わ、わたしがっ
うごく、のおっつっ！

ゆ、結衣さんだって
いつも、俺に合わせて、てっ
腰を、振ってく、れる、からっ！

いゃあんっ
はあんっ、あっ
あ、あれはっ、自然に
う、動いちゃうの……っ！

ぐじゃっ
ズッ

ぱん
ぱん
ぱん







ああ……んっ、
先生の精子、いっぱい……ん、
びゅーびゅーでてる……っ

はあっはあっはあっはあっ

お、女、♡

ふん
ブルッ
ム

びゅー

だん
だん
だん



いっぱい……
出ましたね……

ええ、
すごく気持ち良かったですよ
結衣さんは？

私も、気持ち良かったです……
一緒にいけて嬉しい……



俺、結衣さんといられて
幸せですよ。

もう、
こんな時に
そんなこと言わないでください。
恥ずかしいです……

私だって幸せです……



ああ……
また大きくなってきましたね……

いい？

はい、先生の好きなだけ……

おはっ♡

ムクッ♡

ムクッ

そんな目々が1年近く続いたある日のこと
いつものお茶会が我が家の
リビングで催されていた。

いつもの面々が
いつものようにとりとめの無い
話に花を咲かせている

そんな中結衣さんが
意を決したように
俺に向かって言った。

あの、先生
大事なお話があります。

?
はい、なんででしょうか?





.....
私、妊娠しました。

.....
ええええええええええ
ええつつつつつつ！？
それってもしかして.....？
俺との.....

はい、
先生と私の子です.....

「それで、先生にはご迷惑はお掛けできません、この家を出て行くことにします」

「先生にはこの一年とてもお世話になり私はとても幸せでした」

「あ、ありがとうございます……」
最後の方は涙声になっていた。
俺はこの一年、ずっと迷って言えずにいたことを伝える事にした。

「結衣さん、ひとつ提案があります」

「先生……？」

結衣さんの両手を取り、俺はひとつの提案をした。



先生、
どうして私の様な
不貞を働いた女なんかを……

それはこの一年で
払拭できたと考えています。
そしてこの一年は
結衣さんと一緒にいることの
幸せを確認できた一年でもありました。



そして何より
僕は結衣さんとこれからもずっと一緒に
時間を重ねていきたいんです。

あ……
あああ……
私、わたし……



本当に……
私なんかで良いのですか？

結衣さんじゃなきゃ
だめなんです

結衣さんこそ俺じゃ
イヤですか？



そんなわけありません……
私なんかには
勿体ないくらいです……

それじゃ
あらためて



結衣さん
僕と結婚してください。

はい……!!

おめでとうございますー!!

ひゅー!!
おめでとう!!



「結衣ちゃんはしばらくエッチできないからしばらくは私とだけエッチね!」

「あ、ずるい、私も先生とエッチしたい」

「ダメです、結衣さんが出来ないのに、俺がするわけにはいきません!」

「そんな、先生、我慢はお仕事に差し障るかも知れませんが私なんかは遠慮しなくて良いんですよ」

「夫として、妻を差し置いてなんてダメです!」

「ああ、あなた……」

「ビュービュー、おアツイですね」

「それじゃあ、出産が済んだらみんなで4Pしましょうか」

「なんでそうなるんですか」

「あの、わたしはそれもいいかなって……」

「結衣さん!??」

END